



## ゴキブリはどうして絶めつしないの

### ゴキブリは3億年前から変わらない

ゴキブリの先祖は、今はもう絶めつしてしまって、化石しかない恐竜よりも、もっと前の、3億年前に地球に現れました。たいていの生物は、気温とか、すんでいる場所など周りの環境の変化にそって、長い間に少しずつ進化し、体つきや生活などが変化していくものです。ところがゴキブリは、3億年前に現れたころの化石のゴキブリと、今いるものとを比べても、あまり変わっていません。ゴキブリの仲間は、世界中に3500種類以上います。

### ゴキブリは気候や環境の変化に強い

ゴキブリは、もとは暑い所に適した昆虫でしたが、昔はいなかった北海道でも、最近は見られるようになりました。このように、気候の変化には、大変強い昆虫だといえます。ゴキブリは、せまいすき間が好きで、食べるものも雑食性で、植物から動物、家の中では、石けんから紙まで食べます。ですから、気候の変化も食料不足も、ゴキブリをほろぼすほどにはならなかった、といえそうです。そのため、あまり、姿や形も変える必要がなかったのかもしれませんが、恐竜は、生きていたころの地球の環境に合わせて、体もどんどん大きくなり、たくさんの仲間が生まれ、栄えましたが、その後の地球の変化についていけなくなって、絶めつしてしまいました。恐竜は、ある環境に合わせてしまうと、その環境が変わったとき、生きていけなくなる例といえます。

ゴキブリは、公害にも強く、1ぴきのメスが死ぬまでに産む卵の数も多いですから、当分、絶めつしそうにはありません。（監修・中山 周平）

